



質実剛健



第15 (最終) 号

令和 7年 3月14日 (金)
発行者 校長 當間 五 弥

「この花道はスタートライン 虹色の未来へ歩みだそう」 15の旅立ち “卒業式” が行われました



7日(金)、上山中学校の令和6年度第72回卒業式が行われました。中学校の卒業式は=義務教育からの卒業式。ここからは自分と保護者で決めた次のステージ(高校・専門学校・就職)に進んでいくことになります。卒業生の入退場・校歌斉唱・証書授与は堂々として立派でした。「なりたい自分」の夢をつかみ、この後の人生に幸多かれと願っています。今回は卒業式の様子と卒業生代表あいさつ(金城善樹くん)を紹介します。



厳しい冬の寒さも和らぎ、温かな日差しに包まれ季節の移ろいを感じる今日、私達72期生は上山中学校を旅立ちます。

本日は、私達のために、このような華やかな卒業式を開催していただき、心よりお礼申し上げます。先程は、當間五弥校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、在校生代表の富士原清太さんからの祝辞と励ましのお言葉を頂き、深く感謝すると同時に、私がこの場で、卒業生代表として立たせていただいていることをとても嬉しく思います。

思い返せば、本当にあっという間の3年間でした。不安と期待で胸がいっぱいであった入学式、緊張でまだ自分を出しきれていなかった空気感。私達の目にはすべてが新鮮に写り込んでいました。新しい友達ができ明るい雰囲気の中で学んでいる中、はしゃぎすぎてしまう学年でもありました。先生達から、まだ小学7年生であると言われてたことを今でも覚えています。

時の流れは早くあっという間に、2年生に進級しました。この年は修学旅行がありました。2泊3日の関西旅行では、たくさんの経験をする事ができました。京都自主研修では京都のきれいな町をめぐり、新しい景色を見てご当地グルメを堪能しました。なかには怒られている人もいましたが、今ではそれも良い思い出であると思います。2日目の夜に行われた学年レクでは、各学級が動画を撮影、編集し劇やクイズ、ダンスなどを行いました。先生方からはダンスの出し物をしていただき、私達もとても盛り上がりました。みんなでご飯を食べたり、大浴場でお風呂を共にするなど貴重な時間を経験させていただきました。USJでは、多くの人で混み合うなか、アトラクションを全力で楽しむことができました。家族や先生方、現地の方々の協力を得て、一生の思い出に残る最高の旅にすることができました。





そして、3年生となり、最上級生としての誇りと責任感をより強く感じるようになりました。5月には多くの生徒がハーリーに参加しました。放課後に、体育館前やプールで練習に取り組み、1つの目標に向かって一致団結する最高の経験が出来ました。種目決め、運営など生徒主体で行ったうえやまつり。企画・進行することの難しさを学びました。応援団では、3年生が中心となり、学年の壁をこえて後輩との親睦を深めることができました。そして、学級対抗リレーでは3年生らしい、白熱したリレーで各クラスの団結力を深めるものであったと思います。

合唱コンクールでは、全学級がグランプリをとろうと練習に励み、それぞれの学級のもつ個性を存分に発揮し歌いました。時には、クラス内で衝突し行き詰まることもありましたが、本番が近づくにつれてみんなの意識も上がり、クラスが1つになっていく過程を実感できました。

そして、いよいよ受験が差し迫ってきました。三学年の先生方、生徒で掲げた「受験は団体戦」という言葉を胸に、お互いに勉強を教え合う、問題を出し合うなど学年全体で受験へと向かいました。先日受験の日を迎えました。私達は緊張と不安で胸がいっぱいでしたが、全員が自分の力を存分に発揮できたと思います。

上山中学校の先生方、私達の学年は受験前の意識の低さ、授業中の私語などがあり先生方にたくさんの迷惑をかけてしまいました。先生方の愛にあふれた指導のおかげで、私達はここまで成長することができました。

在校生の皆さん、私達をサポートしてくれてありがとうございました。これからは、皆さんが上山中学校の柱として学校全体を盛り上げてほしいと思います。

そして、お父さん、お母さん、家族の皆さん、私達を温かく見守ってくれてありがとうございました。家族の支えのおかげで、最高の親友達と最高の思い出を作ることができました。まだまだ迷惑をかけてしまうと思います。これからも私達を優しく見守ってください。親孝行できるように頑張ります。

卒業生の皆さん、出逢えた日から今日まで本当にありがとうございました。私のこの学び舎での記憶は、みんなとの楽しい思い出で溢れ返っています。これからは、それぞれの道を歩んでいきますが、仲間と過ごした時間を思い出し、堂々と私は幸せだといえるような人生を作っていきます。

上山中学校の72期生であることを誇りに思いながら、それぞれ自分の道を歩んでいきます。今日まで私達を支えてくださったすべての方に感謝し、今後の上山中学校のさらなる発展を願って、卒業生代表の言葉とさせていただきます。



卒業生からの応援メッセージ「夢を追いかけて」

7日(金)に特別表彰を受け、本校を卒業した周くんから学校(先生・後輩)宛てにメッセージをもらったので紹介します。

僕は中国の河南省で生まれ、小学校5年生の途中まで地元の小学校に在籍していましたが、沖縄県に旅行に来たときに新型コロナウイルスが急に流行し、帰国できなくなりました。そこで、思いがけなかったのですが天妃小学校で勉強をすることになりました。最初は日本語が全く分からず、とても困りました。しかし、学校の先生方や友達から日本語を習い、少しずつ理解できるようになりました。



中学生になったときバスケットボール部に入り、日々練習をしていました。そんな中で、陸上競技専門の國吉睦子先生と出会い・声をかけられ・県中体連夏季陸上競技大会に出場しました。出場種目は1年男子3000mで、結果は最下位でした。また、地区駅伝競走大会でも区間の中で遅い方のタイムでした。しかし次に出場した賢新人駅伝大会では区間3位に入り、走ることに自信が付きました。

中学校2年生になり、県夏季陸上競技大会の1500mで優勝し、九州大会に出場することになりました。また、全国アンダー16ジュニア大会では沖縄県中学新記録を更新して、この後の数々の大会でも優勝することができるようになりました。

中学校3年生になり、高校進学について大分悩みましたが、陸上競技で有名な京都洛南高等学校へ進学したいと思いチャレンジしました。そして運良く合格しました。

高校へ進学したら、敢えて全国レベルを目標にせず、まずは体づくりをして自分がめざしているタイムを出せるよう練習に励みたいと思っています。一番の目標は、インターハイの中距離走で優勝することです。また、学習面では日本語をもっと勉強したいと思っています。漢字や言葉の意味が分からないものがまだまだあるので、勉強をすることで多くの人とコミュニケーションがスムーズにとれるようにしたいです。そしてチャンスがあれば、漢検や英検にもチャレンジしたいと思っています。

これまでにお世話になった校長先生をはじめ諸先生方、友人、家族、地域の方々々に心から感謝し、これからも人間的に成長できるよう精一杯頑張ります。これまで自分を支え、励ましてくれた多くの方々のご恩は決して忘れません。本当にありがとうございました。

